

みんなには 市教組です!

熊本地震の被害はいかがでしたでしょうか。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。我が家と学校の後片付け、児童生徒の安否確認、避難所運営の支援、休校中の家庭訪問、学校再開後の授業時数確保、児童生徒の心のケア等々、これまで心の休まる時はなかったかと思います。そんな厳しい状況でしたが、新聞等では報じられていない嬉しい出来事もありました。

日教組ボランティアが学校内避難所の運営を支援しました



6/2の結団式は春日小の閲覧室をお借りして。この日を心待ちにしていたと言うボランティアの仲間たちと共に。

合間には子どもたちとシャボン玉や折り紙をしました。



私たち熊本市教職員組合も加盟している日本教職員組合が各県・政令市の教職員組合に呼びかけ、ボランティアを派遣してくれました。

のべ170人を越す仲間たちが、学校内にある避難所運営の支援に駆けつけてくれました。6月2日から30日まで、市内の6校（秋津小、泉ヶ丘小、桜木東小、長嶺小、若葉小、西原中）に4人ずつ、日勤と夜勤とに仕事分担して、5日間交代で引き継いでいきました。

市内の宿泊施設が確保できずにベースキャンプを山鹿市のホテルにして、そこからの通いでしたが、空いた時間には、子どもたちや避難者とのふれあいも積極的に行ったそうです。お揃いのビブスのJTUの文字がきっかけで、避難者といろいろな話ができたボランティアの人も多かったようです。

市教組では、組合員宅の片付けをお手伝いしました。

組合員Aさん（女性）はマンションの最上階に住んでいましたが、マンションは赤紙が貼られ、住民の皆さんは全員一時避難に。Aさんも最小限の荷物を持ち出すことしかできないまま勤務を続けていました。見かねた職場の組合員からの要請で、市教組ボランティアが集まり、全てを運び出すことができました。Aさんに笑顔が戻りました。

7/30 震災ストレスのケア（ストレスマネジメント）の講演会を開催

毎年恒例の市教組主催講演会を、今回は関西福祉科学大学の山田富美雄教授（阪神淡路大震災以降、子どもたちのための取組を続けている方）による特別講演会としました。教職員自身が心身の反応に気づき、ストレスマネジメントの体験を活かして、学校で子どもたちへ実践していただきたいと思います。



県にも 1000 万円

日教組から 500 万円が熊本市へ寄付されました



6月15日、被災した熊本城の見える市長室において、各県・各市の教職員組合員から日教組に集まった義援金が、清水日教組書記長から大西市長へ手渡されました。

市長からは、自分自身も本震の際に足を受傷したこと、市内の被災状況、学校が避難所になって先生方にも協力していただいたこと、現在活動している日教組ボランティアへの感謝の言葉がありました。さらに、避難所としての学校施設の見直し、子どもや先生方の心のケアの必要性について話されました。

夏のサービス交渉において、震災にかかわる問題を取り上げました 「先生たちも1学期の心身の疲れをとって、リフレッシュさせてほしい」

例年6月に行っている教職員課との交渉を6月24日に行いました。熊本地震の影響で今年は夏休みが短くなり、さらに延期されていた出張・研修などで動静表が埋まるなかで、心身の疲れがたまったまま2学期を迎える教職員が多いのではないかと危惧されます。また、土曜授業モデル校の実態把握と分析、検討会の実施、部活動見直しの進捗状況などについて質しながら、子どもと向き合う時間を確保し、生き生きと働き続けられる学校職場を求めて話し合いました。



次回の交渉は、秋の全課交渉です。
学校現場の実態と声を届けるため、別紙の職場アンケートへのご協力をお願いします。



いよいよあと半年程で、「県費職員」であった熊本市の教職員も市役所職員と同様に「市費職員」になります。前回お知らせしましたように、現行の給料や手当、休暇については、教職員と市職員とで凸凹があります。このため、不利益なことがおこらないよう、熊本市職員組合（市職組）と連携しながら、市教組として市との折衝を続けているところです。

2017年度以降は市労連（市職組などの労働組合の連合体）の1加盟団体として、共に交渉に臨みます

が、小中学校の教職員を代表する熊本市教組には、これまで以上の結集が必要となります。数は力。他の政令市教組のように、組織率の高いほうが何事も有利に動いていきます。

ぜひ あなたも 力となってください。

市教組への加入をお待ちしています。

市教組版お試し制度もあります。
詳しくは市教組へお尋ねください。

熊本市教職員組合

〒862-0976 熊本市中央区九品寺1丁目11-4
TEL 371-2711 FAX 371-8348
Eメール：sikvouso@mx7.tiki.ne.jp